

## 第 7 章 (第 1 節 第 36 条～第 39 条)

条 文	解 説
<p>(条例制定等の手続)</p> <p>第 36 条 市は、まちづくりに関する重要な条例を制定し、又は改廃しようとするときは、次のいずれかに該当する場合を除き、立案段階から市民の参画を図り、又は市民に意見を求めなければならない。</p> <p>(1) 関係する法令又は条例等の制定改廃に基づくもので、その条例の制定改廃に政策的な判断を必要としない場合</p> <p>(2) 用語の変更等簡易な改正で、その条例に規定する事項の内容に実質的な変更を伴わない場合</p> <p>(3) 前 2 号の規定に準じて条例の制定改廃の議案を提出する者（以下「提案者」という。）が不要と認めた場合</p> <p>2 提案者は、前項に規定する市民の参画等の有無及び状況に関する事項を付して、条例案を提出しなければならない。</p>	<p>【解説】</p> <p>&lt;第 1 項&gt;</p> <p>まちづくりに関する重要な条例の制定改廃に関して、市民参画を図ることを規定しています。まちづくりに関する重要な条例とは、</p> <p>(1)まちづくりの基本方針や分野別の基本方針を定める条例</p> <p>(2)市民に義務を課し、又は市民の権利を制限する条例</p> <p>(3)その他、市民生活に重要な影響を及ぼすことが予想される条例をいいます。</p> <p>なお、「法令」とは、法律及び法律に基づく命令（告示を含む）を指します。</p> <p>&lt;第 2 項&gt;</p> <p>条例案提出の際に市民参画の状況を明示することで、市民及び議会双方への説明責任を果たします。</p>

主な取組状況 (進捗状況や成果)	取組における 課題・問題点等	関連する各条 例の運用状況	前回の見直し時の 推進委員会での意見	意見に対する対応 (対応していない場合はその理由)	条文・解説 で変更が必 要な箇所	市民自治推進委員ご意見・ ヒアリング希望部署
<p>(総務課)</p> <p>■まちづくりに関する重要な条例を制定する際には、必要に応じ、各課において市民委員を交えた附属機関での審議を行うことで、市民参画を図っている。</p> <p>(例)生駒市情報公開及び個人情報保護運営審議会(総務課) 生駒市環境審議会(SDGs 推進課)</p> <p>(行政経営課)</p> <p>■条例の制定改廃に関するパブリックコメント実施件数</p> <p>H26 2件 H27 1件 H28 1件 H29 1件 H30 1件 R1 1件 R2 1件 R3 0件 R4 1件</p> <p>※実施主体：生駒市議会を含む</p>	<p>(行政経営課)</p> <p>パブリックコメントは、政策形成の最終段階での意見聴取となるが、政策形成の初期段階から多様な主体の意見を聴取できる仕組みづくりも求められる。</p>	<p>・生駒市パブリックコメント 手続条例</p>	<p>1 障がい者施策の観点から、障がいをお持ちの方も参画しやすいよう、一定の環境を整える合理的配慮が当然に必要と考えます。</p> <p>2 より幅広く市民の参加を求めるには、会議開催の日時や回数等の検討も必要であると考えます。</p> <p>3 構想段階で自由に意見が出せる場、計画段階における専門的な意見を踏まえた検討の場、実施段階における目標の共有を図る場、実施後の再検討の場における評価の場など、計画の各段階における協議スタイルの検討やメリハリのある情報化が重要と考えます。</p> <p>4 審議会における公募委員の女性比率や個別計画の策定などに関わる附属機関等には、その当事者（たとえば、障がい者施策を検討する附属機関等においては障がいをお持ちの方やそのご家族など）の比率を増やすなど一定の検討が必要と考えます。</p>	<p>(防災安全課)</p> <p>4 生駒市防災会議委員（32名）のうち、2名を公募市民から選出しており、2名とも女性を選出し、女性比率を増やすよう取り組んでおります。</p> <p>(消費生活センター)</p> <p>4 「消費生活審議会」における公募委員は2名中2名が女性となっています。なお、当審議会全体では8名中5名が女性となっています。</p> <p>(人権施策課)</p> <p>4 現在、生駒市人権施策審議会における公募委員の女性比率は、公募委員2名中1名が女性委員であり、比率は50%となる。 審議会全体の女性委員の割合は、全9名中4名が女性委員</p>	<p>特になし</p>	<p>【以下、総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会における当事者参加の原則は図られていますか。(中川委員長)</li> <li>・全ての審議会において、公募委員、女性委員の参画は必須であり、「重要性」「必要性」に応じて図ることではないと考えます。分野に関わらず公募比率 5%以上、女性比率 40%以上等という枠を設ける時期です。(中川委員長)</li> <li>・条文1項の「まちづくりに関する重要な条例」に関して、とくに解説(3)のその他の部分など、重要かどうかを判断するのは誰ですか？(原課だけでない総合的な判断ができていますか？)(相川委員)</li> <li>・条文2項にある「条例案を提出する際に市民の参画等の有無及び状況に関する事項を付して」というのは、徹底されていますでしょうか？ 徹底されているかどうか、どこがチェックしていますか？(相川委員)</li> <li>・第39条との関連でいうと、審議会委員の選任には、地域、性別、年齢、国籍等に配慮とありますが、性別以外の要素はどの程度配慮されていますか？(相川委員)</li> <li>・前回意見の6の公募委員へのサポートや配慮はどうなっていますか？(相川委員)</li> <li>・「まちづくりに関する重要な条例」に関して、(1)(2)はわかりやすいが、(3)の基準はどのあたりで判断されていますか。「重要な影響」とはどの程度で考えられているでしょうか。(平阪委員)</li> <li>・女性比率については意識されているようですが、年齢についてはいかがでしょうか。若者、青少年の参画も積極的に進められてもよいのではないかと思います。(平阪委員)</li> </ul>

第7章（第1節 第36条～第39条）

<p>（介護保険課）  <b>■介護保険条例の改正</b>          介護保険運営協議会で検討を重ね、3年間の保険料を決定した。          （H27年度～29年度）          （H30年度～R2年度）          （R3年度～5年度）検討中</p>		<p>・生駒市介護保険条例（見直し検討中）</p>	<p>であり、女性比率は44%と、生駒市男女共同参画行動計画（第3次）に記載している「審議会等における女性委員の割合」に係る令和6年度の目標値40%を達成している。          委員構成については、各人権分野に係る専門の委員に委嘱しており、計画の作成や施策推進に係る審議に尽力頂いている。</p> <p>（男女共同参画プラザ）          4 個別計画の策定に係る審議会などの附属機関等における女性比率については、生駒市男女共同参画行動計画（生駒市女性活躍推進計画）で参画目標を定めており、今後も各課で所管している審議会等に参画拡大を定期的に呼びかける必要があると考えます。</p> <p>（障がい福祉課）          4・地域における障がい者等の課題を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議することを目的として設置している生駒市障がい者地域自立支援協議会において、複数の障がい者関係団体の代表者に委員として参画いただき、多様な意見を取り入れることで、議論の充実を図っている。また、協議会開催にあたり、障がい者である当事者が参加しやすいよう手話通訳者・要約筆記者の配置、ヒアリンググループの設置等の配慮を行っている。</p> <p>（みどり公園課）          4 女性比率37.5%（委員8人中3人が女性）。          委員の推薦依頼の際には、男女共同参画の観点から女性委員を推薦いただくよう、依頼文に記載をしている。</p>	<p>【以下、行政経営課】          ・パブコメの全体的な実施内容、件数をご教示ください。（中川委員長）           ・パブコメが少ないことに対する取組における課題・問題点等について「多様な主体の意見を聴取できる仕組みづくりも求められる」とありますが、前回の推進委員会での意見にもこれらの課題が上がっているように思います。意見に対する対応はどのようになっていますか？（清水委員）</p> <p>【行政経営課・地域コミュニティ推進課】          ・市民参画の手法として「審議会等の市民委員」と「パブリックコメント」を挙げておられますが、ほかの手法（公聴会や討論会、ヒアリング、或いは若い世代への説明会等）の実施状況を知りたいです。行政経営課が課題として挙げておられる「初期段階から多様な主体の意見を聴取できる仕組みづくり」は、どこまで進んでいますか？（相川委員）</p> <p>【地域コミュニティ推進課】          ・前回の推進委員会からの意見に対する回答が不十分なように思います。（障がい者に対する合理的配慮や当事者参加の拡大に関する指摘であるのに、女性委員比率にしか言及していない）（相川委員）</p>
			<p>5 「公募市民等無作為抽出型登録制度」については、これまでの成果や課題などをまとめ、今後の運用を工夫する必要があるのではないかと考えます。</p>	<p>（総務課）          5 公募市民等無作為抽出型登録制度により、公平により多くの市民に公募市民になっていただく機会が開かれていると考えています。また、審議内容が専門的であるために選任された公募委員が感じられる負担については、引き続いての課題ではあるが、公募市民等無作為抽出型登録制度の登録の際に、関心のある分野を8つの分野から選択して登録していただくようにしており、できる限り本人の関心のある分野において公募委員になってもらえるよう工夫をしています。</p>
			<p>6 公募市民が附属機関等の委員として会議の場に参画できるよう、所管分野における情報提供など一定のサポートや配慮が必要であると思います。</p>	
			<p>7 審議会は条例の進行管理の役割もあると考えます。</p>	<p>（消費生活センター）          7 「消費生活審議会」では、生駒市消費者保護条例の趣旨である「消費者の利益の擁護及び増進を図り、市民の消費生活の安定及び向上を確保する」ために、必要な事項を調査、審議しています。</p>

第7章（第1節 第36条～第39条）

条 文	解 説
<p>（計画策定段階の原則）</p> <p>第37条 市は、市の将来や市民生活に関係する重要なまちづくりの施策の検討及び決定に当たっては、広く市民の意見を求めるとともに、市の考え方を公表するものとする。</p>	<p>【解説】</p> <p>重要なまちづくり施策の検討及び決定を行う場合は、広く市民の意見を求め、市の考え方を公表するという規定です。これは、市の附属機関等における委員の公募、アンケートやパブリックコメントの実施を示しています。なお、対象となる市の基本的な政策等の内容、意見聴取の時期や方法等は別に条例で定めています。</p> <p>《既存の法律など》</p> <p>【生駒市パブリックコメント手続条例】</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 この条例は、パブリックコメント手続に関し必要な事項を定めることにより、政策等を策定する過程において市民に説明する責務を果たすとともに、市民の市政への参加を促進し、もって行政運営における公正の確保と透明性の向上に資することを目的とする。</p>

主な取組状況（進捗状況や成果）	取組における課題・問題点等	関連する各条例の運用状況	前回の見直し時の推進委員会での意見	意見に対する対応（対応していない場合はその理由）	条文・条文解説で変更が必要と思われる箇所	市民自治推進委員ご意見・ヒアリング希望部署
<p>（企画政策課）</p> <p>市民実感度調査（旧市民満足度調査）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年4月：市民380人を対象としたWEB調査を実施</li> <li>令和2年8月及び令和5年1月：市民3,000人を対象とした郵送調査（令和4年度はオンラインでの回答を可とした。）</li> <li>令和3年4月及び令和4年4月：市民1,000人を対象とした郵送調査・オンライン回答可</li> </ul> <p>（SDGs推進課）</p> <p>■第3次生駒市環境基本計画策定</p> <p>計画策定の過程において、無作為抽出による市民アンケート、公募委員・市民団体・市内事業所等で構成する市民ワークショップを実施。（H30.1～5月・H31.1月 の計6回）</p> <p>（人権施策課）</p> <p>■生駒市人権施策に関する基本計画（第2次）を策定するにあたり、人権に関する市民意識調査及びパブリックコメントを実施した。（平成30年度）</p> <p>また、策定した基本計画（第2次）に係る10年間の計画期間の中間年となる令和5年度にも、人権に関する市民意識調査を実施した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒市パブリックコメント手続条例</li> </ul>	第36条と同様		特になし	<p>【地域コミュニティ推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前条文と同じく、条文1項の「市の将来や市民生活に係る重要なまちづくりの施策」の重要性を判断するのは誰ですか？（原課だけでない総合的な判断ができていますか？）（相川委員）</li> </ul> <p>【以下、行政経営課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「公共施設総合管理計画」のような計画を策定するにあたって、どのように市民参画・当事者参画が図られているでしょうか。（中川委員長）</li> <li>他の部署の事例から見ても、生駒市におけるパブコメは極めて少なく、そもそも適切に市民の意見を反映しているとは言えないのではないのでしょうか。条例改正後、問題点は現在ないとする見解が、パブコメを根拠としているのであれば、妥当な判断とはいい難く他の意見徴収の方法が必要ではないかと考えます。（清水委員）</li> <li>パブリックコメントは手続きにのっとって的確に行われているかとは思いますが、意見の量など、十分に機能している状況でしょうか。どのように評価されていますでしょうか。他市等の状況と比較しても問題のない水準でしょうか。（平阪委員）</li> </ul> <p>【行政経営課、地域コミュニティ推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が求めた場合、（市の当初の予定にはなくても）パブコメや公聴会が行われる体制にはなっているのでしょうか？（相川委員）</li> </ul> <p>【地域コミュニティ推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見です。以前の委員会でも申し上げましたが、市民のまちづくりへの参画拡大やシチズンシップ共育の一環として「〇〇計画を学びパブコメを出そう」的な講座の開催を検討されてはいかがでしょうか。（相川委員）</li> </ul>

第7章（第1節 第36条～第39条）

<p>(障がい福祉課)  <b>■</b>第7期生駒市障がい者福祉計画の策定にあたり市民アンケート等を実施し（R5.8月～9月）、当事者の意見を広く求めた。</p> <p>(介護保険課)  <b>■</b>介護保険運営協議会を設置し、高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を検討、策定中（R5年3月）。また、策定にあたり、アンケート及びパブリックコメントを実施予定（R5年度）。</p> <p>(営繕課)  <b>■</b>生駒市営住宅条例の一部改正（H25.3）  「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」による公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅の整備基準の条例化及び入居の際の収入基準の改正に係る生駒市営住宅条例の一部改正を行う際にパブリックコメントを実施した。</p> <p>(上下水道部総務課)  <b>■</b>生駒市水道事業ビジョンの策定にあたり、R1.11に市民アンケート、R3.1にパブリックコメントを実施した。</p> <p>(幼保こども園課)  <b>■</b>コミュニティ・スクール  なばた幼稚園・俵口幼稚園にコミュニティ・スクールを設置し、園と保護者、地域コミュニティが連携して子どものための取組を進めた。  ※コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会制度」といい、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。</p>	<p>(営繕課)  パブリックコメントに対して意見等は無し。  条例改正後、問題点は現在ありません。</p> <p>(幼保こども園課)  ・園の運営方針に沿ったプログラムを、子どもの成長につながり、保護者のニーズに応えられる魅力的なものにできるかという点。  ・取組に係る経費を明確化し、適正に管理する必要がある。</p>	<p>(幼保こども園課)  地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第47条の5）</p>			<p><b>【企画政策課・SDGs推進課・人権施策課・障がい福祉課・介護保険課・営繕課・上下水道総務課】※回答は資料2参照</b>  ・その数は市民の意見をヒアリングする目的に置いて十分と考えられるのか？（正垣委員）</p> <p><b>【企画政策課】※回答は資料2参照</b>  ・市民実感度調査の対象の抽出方法や、対象人数の妥当性、回答率をお示しください。（清水委員）</p> <p>・年度によって調査対象人数に大きな差があるのはなぜか？（正垣委員）</p> <p><b>【SDGs推進課】※回答は資料2参照</b>  ・参加者数をお示しください。（清水委員）</p> <p>・ワークショップの内容を知りたい。（正垣委員）</p> <p><b>【人権施策課】※回答は資料2参照</b>  ・意識調査の対象人数と回答率・パブコメの回数と意見数をお示しください。（清水委員）</p> <p><b>【障がい福祉課】※回答は資料2参照</b>  ・市民アンケート等の対象の抽出方法や、対象人数の妥当性、回答率をお示しください（清水委員）</p> <p><b>【介護保険課】※回答は資料2参照</b>  ・アンケートの対象の抽出方法や、対象人数の妥当性、回答率をお示しください  パブコメの回数と意見数をお示しください。  また、それによる改善点はないのでしょうか？（清水委員）</p> <p><b>【上下水道部総務課】※回答は資料2参照</b>  ・アンケートの対象の抽出方法や、対象人数の妥当性、回答率をお示しください  パブコメの回数と意見数をお示しください。  また、それによる改善点はないのでしょうか？（清水委員）</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第7章（第1節 第36条～第39条）

条 文	解 説
<p>（計画策定手続）</p> <p>第38条 市民に意見を求めるときは、意思決定過程で素案を公表し、市民から出された意見及び情報を考慮して決定する制度やアンケートの実施、公聴会の開催など適切な方法を選択するとともに、原則として提示された意見に回答し、速やかに公表しなければならない。</p>	<p>【解説】</p> <p>市民に意見を求める際の意見聴取の方法や提示された意見に対する市の回答及び公表原則を規定しています。なお、意思決定過程で素案を公表し、市民から出された意見及び情報を考慮して決定する制度による場合については、生駒市パブリックコメント手続条例によることとなります。</p>

主な取組状況（進捗状況や成果）	取組における課題・問題点等	関連する各条例の運用状況	前回の見直し時の推進委員会での意見	意見に対する対応（対応していない場合はその理由）	条文・条文解説で変更が必要と思われる箇所	市民自治推進委員ご意見・ヒアリング希望部署
<p>（企画政策課）</p> <p>・第2期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関するパブリックコメントを実施し、意見や結果を公表した（令和元年12月）</p> <p>（行政経営課）</p> <p>■パブリックコメント手続条例及びその手引きに基づき、素案段階でいただいた意見については、考え方を記載し、各課において公表を行っている。同様にアンケート結果についても公表している。</p> <p>計画策定に関するパブリックコメント実施件数</p> <p>H26 7件 H27 4件 H28 4件 H29 5件 H30 5件 R1 8件 R2 8件 R3 0件 R4 0件</p> <p>（人権施策課）</p> <p>■生駒市人権施策に関する基本計画（第2次）を策定するにあたり、パブリックコメントを実施し、意見や結果を公表した。（平成30年度）</p> <p>（障がい福祉課）</p> <p>■第7期生駒市障がい者福祉計画の策定に当たってパブリックコメントを実施（R5.12月～R6.1月）し、意見や結果を公表予定。</p> <p>（介護保険課）</p> <p>■高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画のパブリックコメントを実施し、いただいた意見について考え方を記載し、公表を行う予定（R5年度）。</p> <p>（上下水道部総務課）</p> <p>生駒市水道事業ビジョン策定にあたり実施したアンケート結果及びパブリックコメントの意見に対する考え方を公表した。</p> <p>【追記】</p> <p>（H29）上記2課（2件）のほか、以下の計画に関するパブリックコメントを各担当課で実施（計5件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第3期食育推進計画（案）」（健康課）</li> <li>・「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針（案）」（こども課）</li> <li>・「生駒市商工観光ビジョン（案）」（経済振興課）</li> </ul> <p>（H30）以下の計画に関するパブリックコメントを各担当課で実施（計5件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生駒市人権施策に関する基本計画（案）」（人権施策課）</li> <li>・「生駒市自殺対策計画（案）」（健康課）</li> <li>・「第3次環境基本計画（案）」（SDGs推進課）</li> <li>・「生駒市空き家等対策計画（案）」（都市計画課住宅政策室）</li> </ul>		<p>・生駒市パブリックコメント手続条例</p>	<p>第36条と同様</p>		<p>特になし</p>	<p>【企画政策課】※回答は資料2参照</p> <p>・パブコメの意見数をお示しください。また、それによる改善点はないのでしょうか？（清水委員）</p> <p>【行政経営課】</p> <p>・R2年までのパブコメがR3・4に0件になった理由をお示しください（清水委員）</p> <p>【人権施策課】※回答は資料2参照</p> <p>・パブコメの意見数をお示しください。また、それによる改善点はないのでしょうか？（清水委員）</p> <p>【障がい福祉課】※回答は資料2参照</p> <p>パブコメの意見数をお示しください。パブコメ実施による課題や改善点はありますか？（清水委員）</p> <p>【介護保険課】※回答は資料2参照</p> <p>・パブコメの意見数をお示しください。パブコメ実施による課題や改善点はありますか？（清水委員）</p> <p>【上下水道部総務課】※回答は資料2参照</p> <p>・パブコメの意見数をお示しください。パブコメ実施による課題や改善点はありますか？（清水委員）</p> <p>・【追記】に関する事項</p> <p>パブコメの意見数をお示しください。パブコメ実施による課題や改善点はありますか？（清水委員）</p>

第7章（第1節 第36条～第39条）

条 文	解 説
<p>（審議会等）</p> <p>第39条 市は、市が設置する審議会等の委員を選任する場合は、地域、性別、年齢、国籍等に配慮するとともに、原則として市民から公募した委員を加えなければならない。</p> <p>2 審議会等の会議及び会議録は、原則として公開しなければならない。</p>	<p>【解説】</p> <p>&lt;第1項&gt; 審議会等委員の選任について、地域、性別、年齢、国籍等への配慮及び原則として市民公募委員を設けることを規定しています。</p> <p>&lt;第2項&gt; 審議会は、原則公開するとともに、その会議録も公開することとしています。</p> <p>平成20年4月1日から附属機関等の設置及び運営に関する取扱指針を施行（平成24年10月9日に同取扱指針を廃止し、新たに「附属機関及び懇談会等の取扱いに関する指針」を施行）しており、委員の公募に当たっては同指針に基づく附属機関等の委員の公募に関する基準（平成24年10月9日から「附属機関及び懇談会等の参加者の公募に関する基準」によるとともに、会議等については、附属機関等の会議の公開に関する基準（平成24年10月9日から「附属機関及び懇談会等の会議の公開に関する基準」）により運用しています。</p> <p>《既存の法律など》</p> <p>【附属機関及び懇談会等の取扱いに関する指針】</p> <p>（委員の公募）</p> <p>第6条 附属機関の委員の選任に当たっては、市民参加の推進を図るため、公募による委員の選任枠を設けるものとする。ただし、その設置目的、審議内容等から公募が適当でない場合は、この限りでない。</p> <p>2 公募により委員を選任する場合は、その選任方法に公平、公正を期すとともに、応募者の意欲、知識等を考慮し、選考するものとする。ただし、生駒市公募市民等無作為抽出型登録制度実施要綱（平成25年4月1日施行）に基づき委員を選任する場合は、この限りでない。</p> <p>3 前2項に定めるもののほか、委員の公募に関する取扱いの基準は、別に定める。</p> <p>（会議の公開等）</p> <p>第12条 附属機関及び市は、会議の開催の周知、会議の公開、会議結果の公表等に努めるものとする。</p> <p>2 前項に定めるもののほか、附属機関及び懇談会等の会議の公開等に関する取扱いの基準は、別に定める。</p> <p>3 附属機関等は、審議に当たり、市民からの意見募集、公聴会の開催等の方法により、市民の意向が反映されるよう努めるものとする。</p>

主な取組状況（進捗状況や成果）	取組における課題・問題点等	関連する各条例の運用状況	前回の見直し時の推進委員会での意見	意見に対する対応（対応していない場合はその理由）	条文・条文解説で変更が必要と思われる箇所	市民自治推進委員ご意見・ヒアリング希望部署
<p>（企画政策課）</p> <p>《第1項》 総合計画審議会の委員定数15名に対して、公募市民3名を迎えています。</p> <p>《第2項》 総合計画審議会については、原則公開とし、資料及び会議録を市ホームページで公開しています。</p> <p>（総務課）</p> <p>■附属機関及び懇談会等の取扱いに関する指針、附属機関の委員及び懇談会等の参加者の公募に関する基準、附属機関及び懇談会等の会議の公開に関する基準（いずれもH24.9策定）に基づき、各課において対応。</p> <p>※市民公募している附属機関等の公募委員比率：17.4%(R4年度末現在) （参考値。上記基準では20%）</p> <p>※附属機関等の女性比率：35.0%(R4年度末</p>	<p>（総務課）</p> <p>・今後も引き続き取組を進めていく必要がある。</p>		第36条と同様		特になし	<p>【男女共同参画プラザ】※回答は資料2参照</p> <p>・性別については女性比率として指標化され、各課より回答いただいておりますが、これを一覧可能な形で体系的に管理されていますでしょうか。また、性別以外の属性(地域、年齢、国籍等)についてもバランスの適否をチェックする仕組みはありますか。(生駒委員)</p> <p>【以下、総務課】</p> <p>・公募委員が単なるピンポイントクレーマーとならないように研修、ブリーフィング等のサポートを受けられるようにしていますか。(中川委員長)</p> <p>・公募市民等無作為抽出型登録制度で、関心のない分野なのか、発言がなかったり、よくわからないのというコメントが出たりすることがあるが、このような人を委員にするのはいかがなものかと。体裁だけとしか思えない。たくさんいる登録者の中から、どのように決めているのか。</p> <p>また、8分野において登録者の関心の高い分野と低い分野は。(中尾委員)</p>

第7章（第1節 第36条～第39条）

<p>現在）（上記指針では 40%）</p> <p>（総務課）  <b>■公募市民等無作為抽出型登録制度（H25.4）</b>          市政への市民参画の機会を創出し、多様な市民の意見等を市政に反映させるため公募市民等の無作為抽出による登録制度を実施している。</p> <p>市民協働・人権、子育て・教育、環境・ごみ減量化、福祉・健康・医療、行政経営・防災、生涯学習・スポーツ、景観・まちづくり、産業・環境の8分野に総計1,301名（H25.6～H27.6：284名、H27.6～H29.6：349名、H29.6～H31.6：182名、R1.6～R3.6：209名、R3.6～R5.6：277名）の市民に登録いただいた。</p> <p>令和3年度末までで、累計45の審議会等（ワークショップ等を含む。）で当制度を活用し、累計117名の公募市民を選出した。</p> <p>（防災安全課）          生駒市防災会議委員のうち、2名を公募市民委員として委嘱している。この公募市民の選出には、会議体の女性比率を意識し、いずれも女性を選出している。</p> <p>また、生駒市防災会議は公開で開催しており、議事録等を市ホームページで公開している。</p> <p>（防災安全課・消費生活センター）  <b>■「消費生活審議会」委員8名のうち、2名を公募市民委員として委嘱。審議会（公開）を開催（H30.5.29）（R元.5.28）（R2.7.30）（R3年度は書面開催）（R4.5.19）（R5.5.16）して、審議結果を市H.P.で公表した。</b>          市消費者保護条例（平成19年12月条例第26号）</p> <p>（行政経営課）  <b>■「行政改革推進委員会」委員8名のうち、2名を公募市民委員として委嘱している。また、審議会は原則公開しており、会議録等をホームページで公開している。</b></p> <p>（地域コミュニティ推進課）  <b>■参画と協働のまちづくりに関する基本的な事項について調査審議する委員会「市民自治推進委員会」</b>          委員9名中、3名が公募市民委員、6名が女性。          （令和5年11月現在）</p>	<p>（総務課）          ・多くの方に登録いただいているが、登録期間である2年の間、一度も公募市民として審議会等に参加していただけない場合がある。</p> <p>（消費生活センター）          ・消費者の利益の擁護及び増進を図り、市民の消費生活の安定及び向上を確保するために、今後も引き続き取り組みをすすめていく必要がある。</p>				<p>・一度も公募市民として審議会等に参加していただけない場合があるとのことではありますが、公募市民の登録者が十分にいらっしゃるからなのか、登録しているが、声をかけても協力いただけないのかどちらでしょうか。（清水委員）</p> <p>・市民公募委員を募集するにあたり、市民にとって審議会や委員会に参加する事の意義やメリットをどのように表現しているか？（正垣委員）</p> <p>（いずれも前掲）          ・審議会委員の選任にあたって性別以外の要素は、どのように配慮されていますか？          ・公募委員への研修などサポート体制はどのようになっていますか？（相川委員）</p> <p><b>【以下、地域コミュニティ推進課】</b>          ・意見です          以前の委員会でも申し上げましたが、公募市民等無作為抽出型登録制度で登録された方を対象に、自治基本条例等に関する勉強会や前述のパブコメを出そう的な講座を受けて頂いたらどうでしょうか？（相川委員）</p> <p>・公募市民無作為登録制度の対象市民も含めて市の生涯学習事業制度、予算を充当して自治基本条例を学習するコースを設定する必要があります。これは、人権研修等と同等の市民社会の必要課題学習です。（要求課題にばかり対応していくのは生涯学習の逸脱です。）（中川委員長）</p> <p><b>【企画政策課・防災安全課・消費生活センター・行政経営課・地域コミュニティ推進課・SDGs推進課・人権施策課・介護保険課・地域医療課・都市計画課・みどり公園課・生涯学習課・スポーツ振興課】</b>  <b>※回答は資料2参照</b>          ・公募の実施状況については、よくわかりました。公募に関する課題はございませんでしょうか。（清水委員）</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第7章（第1節 第36条～第39条）

<p>会議は公開しており、会議録もHPに掲載している。</p> <p>（SDGs推進課）  <b>■</b>生駒市環境審議会は、市の附属機関であり、2名の公募市民に委員委嘱している。また、生駒市環境審議会は原則公開しており、会議録等をホームページで公開している。</p> <p>（人権施策課）  <b>■</b>生駒市人権施策審議会は、市の附属機関であり、公募市民2名を委員として委嘱している。また、審議会は原則公開しており、ホームページでも会議録及び資料を公開している。</p> <p>（男女共同参画プラザ）          生駒市男女共同参画行動計画（第3次）（計画期間：平成27年度から令和6年度までの10年間）は、生駒市女性活躍推進計画としても位置付けられているため、審議会等における女性委員の割合を40%、女性委員がゼロの審議会等の解消を具体的な目標としている。</p> <p>毎年、男女比率のバランスが図られるよう「審議会等における女性委員の参画拡大について」を文書で通知している。</p> <p>また、年度当初の4月に「男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」を実施し、各課で所管する審議会等への女性登用状況を把握するため照会している。</p> <p>※審議会等における女性委員の割合：35.0%（R5.3月末現在）（上記指標では40%）          ※女性委員がゼロの審議会等：6/72（R5年.3月末現在）          （上記指標では0）</p> <p>（介護保険課）  <b>■</b>介護保険運営協議会は、市の附属機関であり、2名の公募市民に委員委嘱している。また、介護保険運営協議会は原則公開しており、会議録等をホームページで公開している。</p>						
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--

第7章（第1節 第36条～第39条）

<p>（地域医療課）  <b>■</b>生駒市病院事業推進委員会は、市の附属機関であり、3名の公募市民に委員委嘱している。また、生駒市病院事業推進委員会は原則公開しており、会議録等をホームページで公開している。</p>		<p>・生駒市病院事業の設置等に関する条例</p>				
<p>（都市計画課）  <b>■</b>生駒市都市計画審議会は、学識経験者(8名)、その他市長が必要と認める者(4名)、市議会議員(3名)から構成している。その他市長が必要と認める者の内、1名を住民自治の観点で生駒市自治連合会会長に委員委嘱している。なお、生駒市都市計画審議会における会議録や会議資料についてはその都度、市のホームページにて公表している。</p>						
<p>（拠点形成課学研推進室）  <b>■</b>学研高山地区第2工区のまちづくりについて          平成28年8月、学識経験者等から構成される「学研高山地区第2工区まちづくり検討有識者懇談会」を設置し、平成29年9月に議論した内容をとりまとめた「有識者懇談会のとりまとめ」を公表した。その後、11月に地権者および市民を対象にとりまとめ報告会を開催した。なお、有識者懇談会における会議録や会議資料についてはその都度、市のHPにて公表している。          また、本年3月、5月に今後のまちづくりの取組みなどについて、地権者の意見を広く聞くための勉強会（意見交換会）を開催し、11月には地権者の約半数が加入する「学研高山地区第2工区地権者の会」が発足した。なお、設立総会等の様子はホームページにて公開している。          「学研高山地区第2工区まちづくり検討有識者懇談会」は「有識者懇談会のとりまとめ」を公表したことをもって、閉会し、平成30年10月に設置された「まちづくり検討会」にて10回の会議を経て、令和4年6月「学研高山地区第2工区マスタープラン」を策定した。これをもって検討会は閉会し、令和5年5月には先行地区の地権者によってまちづくりを推進するための「学研高山地区南エリアまちづくり協議会」を設立した。現在は地権者の会や地権者による組織であるまちづくり協議会により事</p>	<p>（拠点形成課学研推進室）          ・今後、学識経験者や地権者等から構成する「新たな検討組織」を設置し、学研高山地区第2工区の全体土地利用計画等（マスタープラン）を策定していく上で、検討内容等を公表・公開することによって、当該地区のまちづくりについて広く知ってもらう必要がある。</p>					

第7章（第1節 第36条～第39条）

<p>業を推進している。このことから、現在の第2工区の取り組みは第6章条文第18条に関連するものであるため、第6章に記載する。</p> <p>（みどり公園課） 生駒市景観条例に基づき2011年1月1日に、本市の良好な景観の形成に関する重要な事項を調査審議するため「生駒市景観審議会」を設置した。 審議会の会議録や会議資料についてはその都度、市のHPにて公表している。</p> <p>（生涯学習課） ■社会教育委員会 市内の社会教育・家庭教育・学校教育に関わる活動団体や組織に属する委員で構成 （委員14人中、女性5人）</p> <p>（生涯学習課） ■文化財保護審議会 文化財の各専門分野の学識の委員で構成 （委員4人中、女性1人）</p> <p>（スポーツ振興課） ■スポーツ推進審議会は、学識経験者等に委員委嘱をしているが、委員のうち1名は公募市民で構成している。また、会議は原則公開しており、会議録等をホームページで公開している。</p>						
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--